

税の意義

学校法人佐々木学園鶯谷中学校 3年 森 優希

私は三歳から八歳までの間父の仕事の都合でアメリカに五年間住んでいた経験があります。私がアメリカに住んでいた間、私や私の家族はほとんど病院に行ったことがありませんでした。どんなに高い熱が出ても、薬局で薬を買って治していたし、私も弟もハチに刺されたことがあるのですが、その時も薬局で薬を買って飲むだけで病院に行ったりはしませんでした。周りの子もみんなそれが普通で相当なことがない限り病院には行きませんでした。また、母はアメリカの雪道ですべって事故を起こしてしまったこともあり、周りの人が救急車を呼んでも母は乗るのをためらっていました。その当時はどうしてためらっているのか私は不思議でした。しかしそれは、アメリカが医療費は全て自己負担という国だったからです。実際にその時救急車の請求が百万来ていたみたいです。それに対して日本では税金によって医療費のほとんどが負担されています。なので日本では気軽に病院に行くことができます。また、コロナウイルス感染者の増加をアメリカより防いでいるのはこのことがあるからだとも言われています。私はこのことを知って、日本の税金はとても重要な役割も果たしていると感じ、税金がどのように使われているかもっと詳しく知りたいと思い調べてみることにしました。

税金は右で述べたように健康や生活を守る費用である社会保障費があります。これは病院代の他に救急車や消防車でかかる費用も負担しています。私たちが納めた税のうち三割以上がこれに使われているそうです。他には道路や住宅などの整備に使われる公共事業費に六．八％、教育や科学技術に使われる教育費に五．五％、そして国の防衛に使われる防衛費に五．二％、主に税金はこのような使い道で使われているそうです。このように、税金というのは私たちの生活をより豊かにするために使われているのがほとんどだということがわかります。

これを通して、私は税金がとても重要であって、本当に必要なものだと知ることができました。普段私たちはたくさん税金を納めなければならないことを負担に思っているけれど、納めていることによって自分の生活が豊かになっていることも知って感謝すべきなのではないかと思います。また、救急車などは国民が働いて納めたお金で成り立っているものなので、本当に必要としている人に使ってほしいし、無料のタクシー代わりに使うなどといった行為はなくなってくれればと思います。

私が普段納めている税金といえば消費税くらいだけど、これからは今までよりも気持ち良く税金も払える気がします。